

お年玉企画

解で豪華賞品を当てよう



セット

つのバック
に持ち運

様



2020年の広報「林檎の森」を振り返ると、コロナウイルスが流行するまでは青年部の餅つき大会や女性部の通常総会、農機の大売り出しなどの様々なイベントが行われていました。

しかし、コロナウイルスが流行すると、例年行われていたイベントが中止になり、または規模縮小して行われる等、この1年の中でガラリと生活様式が変わってしまいました。

その中でも地域を盛り上げる為、皆様には御協力頂き感染症対策を行いながらも行っていたイベントも沢山ありました。

そこで、2020年に発行された12冊の広報誌の中から問題を6つ作りました。2020年の広報誌を見返して頂くことで全問正解できる問題が次のページにありますので是非挑戦してみてください。

また、JA相馬村のホームページにて過去の広報誌を見ることが出来ます。難しい(!?)問題にぶつかった時には是非参考にして下さい。

←広報誌のバックナンバーはこちら!!



新春 全問正



エアセンサーベスト

夏の熱中症対策に!!
ベストの中を涼しくして
屋外の作業も快適!

フード付きベスト、ファン×2、バッテリー、
充電器付き
※色とサイズをお選びいただけます。

A賞 2名様



Iwaki シンジカトウ パック&レンジ角型 4点セット

おいを気にせず料理を
入れて冷蔵庫で保存
蓋を外せばオーブンでも
使える
使わない時は重ね合わせ
て収納に幅を取りません

本体：ガラス容器
蓋：ポリプロピレン

B賞 4名様

※ご応募いただいた個人情報、
読者プレゼント以外には使用し
ません。

【賞品の発送】

令和3年2月中旬(予定)

読者プレゼント係

広報「林檎の森」

弘前市大字五所字野沢23-1

036-11593

【宛先】

(消印有効)

令和3年1月28日(木)

【締切】

応募方法は官製ハガキに①クイズの答え、②郵便番号と住所、③氏名、④電話番号、⑤年齢、⑥当JAへの意見や要望、メッセージをご記入の上、紙面右下の応募券を添付してご応募ください。(応募券がないものは無効となります。)

厳選な抽選のうえ当選者を決定し、当選は発送をもってかえさせていただきます。

キャプテンスタッグ チェア&テーブル

イスとテーブルが1
クに収納して、簡単
びが可能

折り畳みイス×2
折り畳みテーブル×1
専用バック×1

C賞 4名

全問正解で豪華賞品を当てよう

2021年最初の運試しとしては是非挑戦してみてください。
いつも広報「林檎の森」を読んでいる方なら正解間違いなし。

【問題①】

相馬管内のりんご生産者の剪定作業を請け負い、地域のりんご産業を守り続ける剪定隊。その地域のヒーローJA相馬村剪定隊のチームロゴにかかれている4文字の英単語はどれでしょう。

- 1. P P A P
- 2. H E R O
- 3. S C C P P
- 4. L O V E



マークの中央には怪しい4文字

【問題②】

450年続く奇習であり、ろっそくや松明の炎が訪れた人を魅了するろっそく祭り。毎年様々なテーマが掲げられ、テーマに沿ったレイアウトで会場を盛り上げている。

去年開催された同まつりのテーマは何でしょうか。

- 1. 地球
- 2. 飛躍
- 3. 絆
- 4. 果実



松明が激しく燃えるその後方には…

【問題③】

9月24日に開催された第56回JA相馬村通常総会。コロナウイルス感染拡大防止対策の為、〇〇議決のみで、全議案が可決承認され無事総会を終えることが出来た。

さて、初の取組とは何でしょうか。

- 1. 拍手
- 2. SNS
- 3. 書面
- 4. ハガキ



規模を縮小して行われた通常総会

※各問題の最後にあるQRコードの中の記事にヒントがあるよ!!

【問題4】

2020年に、リンゴの主力品種である「ふじ」が生誕80周年を迎え、広報9月号ではふじの歴史を振り返りました。

ふじの発祥の地はどこでしょう。

- 1. 板柳町
- 2. 弘前市
- 3. 相馬村
- 4. 藤崎町



〇〇町にあるふじ原木公園

【問題5】

コロナ禍により仕事が半分以上に減った日本航空株式会社での運行乗務員が、人手不足の農家とマッチングし、援農活動に訪れた。

この援農活動に訪れた運行乗務員らを〇〇〇応援団と呼ぶでしょうか。

- 1. 寝る
- 2. 歩く
- 3. 空飛ぶ
- 4. 走る



葉取作業に夢中な運行乗務員

【問題6】

平成26年以來の80万箱越えを記録した令和2年度のりんご入庫数量。

また、参加人数が過去最高に達した企業応援ボランティアのその人数は何人でしょうか。

- 1. 10人
- 2. 30人
- 3. 43人
- 4. 50人



休憩中も映える写真を撮ることに一所懸命な参加者